



New Tea Time Vol.2 1

低燃費住宅地域 No.1 を目指す

(有)やなぎたハウジング

〒321-4517 栃木県真岡市阿部品572-1
TEL0285-74-4655 FAX0285-74-4657

暑さ寒さも玄関まで！
長期優良住宅も低燃費住宅も
お任せ下さい！



インフルエンザや風邪がはやっておりますが、みなさんお元気ですか？
寒い中、2月上旬の新住協全国一斉見学会にご参加いただき、ありがとうございました。
高性能な高気密高断熱住宅の展示場がないので、多くの皆さんにこの工法を知っていただける数少ない機会なので、新しい方にもじっくりと説明できて良かったと思います。それでもまだまだ知られていませんので今後もがんばっていかないとはいけません。今回の見学会に参加して頂いた方の中に、知人が「あったか〇〇ム」で新築したので行って見たところ、ちょっと暖かくないと感じたという経験をお聞きました。

同じ高気密高断熱を旨としている私たちとしては、複雑な気持ちです。

中途半端なレベルではなく、暖房しなくても暖かい家は確実にしてくれるのですが・・・。

今回は築26年の家を断熱改修し、震災で暖房が使えなくなってしまった時の温度データを入手できましたので、断熱改修工事の実力を皆さんに知っていただければ嬉しく思います。

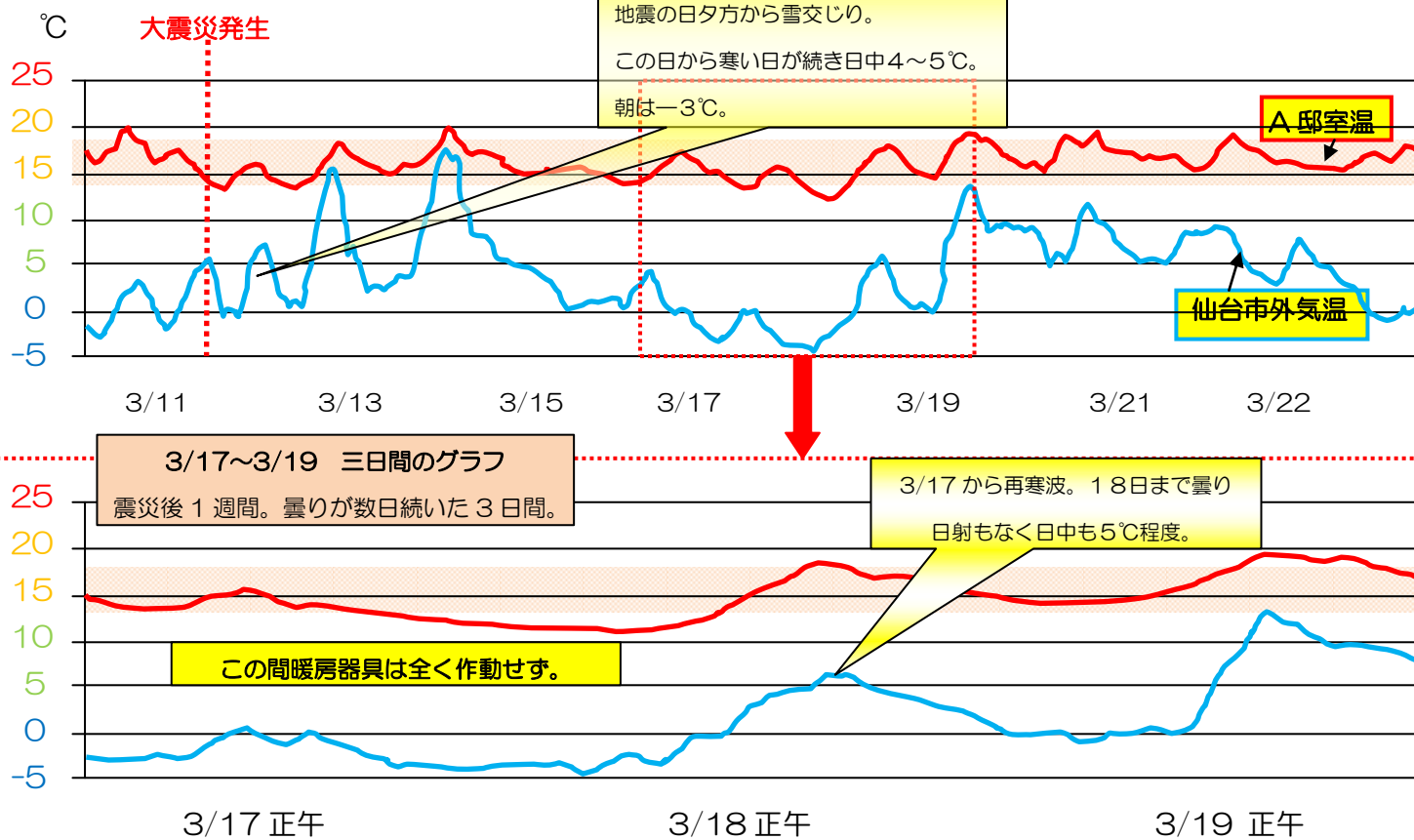
やなぎたハウジング 代表 柳田 勲

Q1 住宅での震災後の生活

■1986年建築された家を2008年にQ1住宅へと改修しました。東北地方で寒く、年間650ℓも灯油を使っていましたが、改修後には200ℓまで減らしながら全室暖房の暮らしが実現していました。そこへ昨年3月11日の大震災がありました。地震発生後、暖房は10日間OFFになりました。

そのとき、高断熱住宅はどうなったのでしょうか？

■大震災発生後の温度グラフ・外気と室温■



■3月11日午後2時46分大地震発生。そして停電。このお宅の暖房は、灯油で温水を造り、床下に放熱するというタイプの暖房で、電気がなければ暖房できない仕組みです。

真冬の寒波が来た17日・18日に、瞬間的に12℃近くになりましたが、大体15℃から16℃くらいで暮らしていました。厚めのセーターにズボン、スリッパ履きでいればストーブなしでも大丈夫でした。

とにかく日が照りさえすれば室温が上がり、高断熱がそれをずっと保温するという、単純な理屈ですが、この住宅の性能を物語っています。

	住宅の熱性能	■住宅面積 木造2階建て 約104㎡	●設計時点で パソコンで 計算できます。
		■熱損失係数(Q値) 1.47 総熱損失係数(Qa) 152w/k	
		■室内取得熱 1629w/h 内 冬季日射取得熱 1150w/h	
	■自然温度差 10.9℃		

このデータから何がわかるでしょうか？**外気温と比べ、室内はいつも10.9℃高い**ことを示しています。

ちなみに弊社でも南と西と北の窓には断熱性の高いハニカムサーモスクリーンを採用していますが、この家でも使用しています。

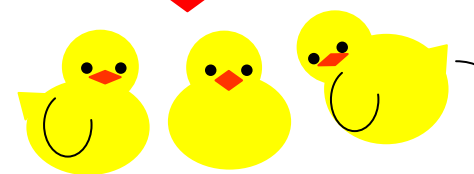
この断熱スクリーンが、生活熱(人、調理、家電などから出る熱。)や日射熱を保温する役割を果たしてくれました。曇りの日は窓から熱がにげてしまうのを防ぐためにサーモスクリーンを終日下げておいたということです。

今回、暖房を10日間止めたままというのがポイントです。暖房を止めても翌朝何度だったという話はよく聞かれますが、止めればなしで10日間という測定は希少価値です。

外気温が-3℃になっていても暖房なしで平均15℃を保てる住宅なら、震災やエネルギー不足等の場合でも、十分家族を守ってくれるでしょう。これは大きな安心につながります。



丸と三角でかく
PIYOPIYO...



にゃんこのスペースが
とれませんでした..
あしからず..
次回も読んでくださいね!

動物たちのマンガ劇場

